

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

免疫不全関連リンパ増殖性疾患の臨床病理学的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2004年4月～2018年3月に当院で濾胞戦リンパ腫の病理診断および治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

メトトレキサートは関節リウマチの重症例に対して広く用いられています。メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患は、メトトレキサート投与中の患者に発生するリンパ増殖性疾患で、関節リウマチ治療においては、メトトレキサートの重篤な副作用の一つとしてあげられています。

メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患は多彩ですが、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫が最も多く全体の35～60%を占め、Hodgkinリンパ腫が次に多く12～25%といわれています。しかしこれらの腫瘍性病変（悪性リンパ腫）と非腫瘍性病変（反応性過形成）の区別は容易ではなく、メトトレキサート中止のみで良くなるものから、抗がん剤の治療を必要とするものまであり、その違いは明らかになっていません。今回、私たちは多数例の免疫不全リンパ増殖性疾患症例について、その病理組織学的特徴、染色体・遺伝子検査、各種バイオマーカーの発現を検討し、臨床的特徴（性別、原疾患、治療薬歴、治療期間、進展度、MTX中止の有効性、治療効果、予後など）を統計学的に比較検討することを計画しています。

研究期間

2018年 4月 1日～ 2019年 3月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、病理診断報告書

試料：昭和大学病院臨床病理診断科において病理診断を行ったあとに保存されていた病理標本
（患者さまから新たな検体の採取をお願いすることはありません）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部臨床病理診断学講座 氏名：塩沢 英輔

住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8122

研究責任者：

所属：医学部臨床病理診断学講座 研究責任者：瀧本 雅文